

「JPCERT/CC・CERT/CC 脆弱性情報ハンドリングワークショップ」

<http://www.jpCERT.or.jp/workshop.txt>

- [日時] 2004年3月9日(火) 14:00 から 17:00
- [会場] ホテルニューオータニ 悠の間 (東京都千代田区紀尾井町4-1)
- [主催] 有限責任中間法人 JPCERT コーディネーションセンター (JPCERT/CC)
CERT Coordination Center (CERT/CC)[註1]
- [後援] 経済産業省、総務省
- [協賛] 特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)
独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)
- [プログラム(敬称略)]
- 14:00 開会挨拶
JPCERT/CC 経営企画室長 大林正英
- 14:05 後援挨拶
経済産業省商務情報政策局情報経済課セキュリティ政策室
川口修司 課長補佐
総務省情報通信政策局情報流通振興課
高村信 課長補佐
- 14:15 脆弱性情報ハンドリング (米国 - 日本間コーディネーション)
CERT/CC 脆弱性情報ハンドリングチームマネージャ ショーン・ハナン
JPCERT/CC 伊藤友里恵
(日本語逐次解説あり)
- 15:30 総括(補足説明)
JPCERT/CC 技術統括 水越一郎
- 16:00 質疑応答
- 17:00 閉会

[背景と経緯]

2002年2月にSNMPの実装に含まれる脆弱性が指摘されて以降、昨年はX.400やS/MIME、今年にはH.323、といったように様々なプロトコルの実装に含まれる脆弱性が発見、指摘されてきています。このような「プロトコルの実装に含まれる脆弱性」は、一般に複数のベンダをまたがって広範囲に影響を及ぼすことから、関連する情報の取り扱いには、より一層の注意が必要とされています。

このような中でJPCERT/CCは、英国政府系インシデント対応チーム(CSIRT)であるUNIRAS[註2]などの海外CSIRTとの連携のもと、未公開の脆弱性情報やその脆弱性に関する検証ツールなどを国内の関連するベンダに対して配布するといった、日本における情報流通の窓口としての活動をしてまいりました。今回のワークショップは、この枠組みを更に拡大し、より効率的かつ効果的な情報流通を図ることを目的としています。また今回は、CERT/CCの脆弱性情報ハンドリングチームマネージャのショーン・ハナン氏が来日し、JPCERT/CC担当者とともにベンダの皆様にご説明を行います。

[註1] CERT Coordination Center (CERT/CC) <http://www.cert.org/>

[註2] Unified Incident Reporting and Alert Scheme (UNIRAS) <http://www.uniras.gov.uk/>